

委員会議事概要

1 委員会名	令和3年度 第8回沖縄海区漁業調整委員会
2 開催日時	令和3年11月12日(金) 14:00~15:06
3 開催場所	沖縄県庁6階 第2特別会議室
4 出席委員 (定数15名中13名)	(会場参加) 赤嶺博之委員、池田博委員、大嶺嘉昭委員、八前隆一委員、 山内得信委員、大谷健太郎委員、新立弘子委員 (Web参加) 伊良波宏紀委員、当真聡委員、藤田喜久委員、山川彩子委員、 天方徹委員、城間恒浩委員
5 議事録署名人	八前委員、新立委員
6 議事内容	
(1) 第1号議案	浮魚礁の敷設承認申請について (P1~P33)
【要旨】	新規の承認申請が8基(沖縄県6基、石川漁協1基、那覇市沿岸漁協1基)あり。原案のとおり承認された。
【特記事項】	特になし。
(2) 第2号議案	ウミガメの採捕承認申請について (P34~P38)
【要旨】	漁業目的で1件(久米島漁協所属)の申請あり。原案のとおり承認された。
【特記事項】	特になし。
(3) 第3号議案	沖縄県知事等又は職員の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定への同意について (P39~P48)
【要旨】	11月議会で提案が予定されている標記条例について、県知事より協議があった。同条例の内容と当委員会において条例適用になった場合の賠償責任上限額や適用が想定される事例等も併せて説明を行った。特に異議はなく、同条例案は同意された。
【特記事項】	特になし。
(4) 報告事項1	スジアラ及びシロクラベラの漁獲サイズ制限に関する意見照会の回答状況について (P48~P58)
【要旨】	スジアラ及びシロクラベラ資源の保護培養に関する委員会指示3第3号は、対象種の資源の保護培養及び当該指示の実効性向上のため、対象区域の拡大に向けて関係漁業団体に意見照会を行っている。この意見照会の回答状況と今後のスケジュールの事務局案を報告した。

【特記事項】

【山内委員】 アカジン、ミーバイ、マクブの資源は、2、30年前と比べて、ものすごく資源量が減っている。この資源を守って、持続的に利用するためのルールを構築することに異論はない。大事なのは、ルールの実効性だ。どのようにして、このルールが守られるのかが重要。啓蒙活動も併せて行う必要がある。見えないところで、資源がどんどん減っていくのではないかと、危惧している。

【事務局】 委員会指示の違反、規則の違反の実効性を担保するために、取締りや、周知、啓蒙は徹底する必要があると考えている。委員会指示は、規則と違って、ルールが比較的つくりやすい。この委員会指示でルールを周知して、皆さんの理解も得て、場合によっては規則に上げて、規則の場合は違反すれば即違反として取締り対象になるので、そういったことも検討できると思う。大事なのは、皆さんのご理解なので、周知、啓蒙をやっていきたい。

今、県も周知、啓蒙の事業をやっているので、今後も引き続き、周知、啓蒙を強化したいと思っている。

【新立委員】 セリで、規定以下の魚が出荷されているのを見るので、魚の計量を行う漁協の職員に対する勉強会を検討してはどうか。取締りというが、誰が取り締まるのか。漁協の職員で対応するしかないが、注意したら、とぼっちりが来る。だから、なかなか注意ができないと思う。そこで職員に勉強会させれば、委員会指示違反の魚への対応が出来るようになると思う。